

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区分	各教科										特別の道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



3 本校の取組

上地小学校では、毎日、13時20分から13時30分まで（水曜日は13時5分から13時15分まで）を「英語活動」の時間としています。児童は、『OK English』のDVDを視聴して、チャンツなどの発声練習を繰り返したり、歌や踊りを楽しんだりして、英語に親しむことができます。簡単なアニメーションなら、聞き取った英単語とイラストを手がかりに、だいたいの内容を理解しています。教師も、ジェスチャーを交えて会話をしたり、児童と一緒に英語の歌を歌ったりしています。また、DVD視聴後に、その日のチャンツなどで出ていた会話などを実際に使って友達と関わったりしながら活動を楽しむ様子も見られます。

◎指導の基本方針

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通してコミュニケーションを図る素地となる資質・を育成する。

◎学年別の到達目標と身に着けさせたい力

- 低学年
 - ・英語の音声に親しむ。挨拶等の簡単な英語表現を身につける。
 - ・耳と口を育てる。
- 中学年
 - ・英語の音声に親しみ、外国への興味・関心や英語学習への意欲の喚起を図る。
 - ・英語の基礎的な音声、挨拶等の簡単な英語表現を身につける。
 - ・耳と口を鍛える。